

令和5年度 事業報告書 岡崎いきいき市民活動センター



【指定管理者：特定非営利活動法人 音の風】



1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、センター長代行 1 名、職員 9 名（常勤 1 名、非常勤 8 名）

【人材育成の取組】

- ・OJT 研修
- ・いきセン合同研修

(2) 貸館等

ア 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
R4	185	162	178	134	126	151	147	128	117	113	125	138	1,704	79.07%
R5	130	128	126	136	128	143	133	124	122	116	130	149	1,565	91.84%

(年間) 1,565 件 (前年度比 91.84%)

イ 利用状況

①年間での利用状況について、傾向

令和 5 年、コロナ禍の影響が落ち着きを見せ、新規利用登録も 51 件あった。利用増を期待した一方で、利用件数の表を見ると前年比 91.84%という結果になった。7 月～3 月で比較すると、R4 年度が 1179 件、R5 年度が 1181 件とほぼ同件数で、4 月～6 月の減少が激しい。前年度 100 円の時の駆け込みでの申込が原因と考えられる。

②課題や改善

- ・会議室に比べ、和室の利用率が低い。



会議室 1 : 1486 時間 会議室 2 : 1312 時間 和室 : 768 時間 合計 : 3566 時間 (有料利用のみ)

- ・夜の時間帯の利用が低い。



午前 (10-13) 1255 時間、午後 (13-17) 1903 時間、夜間 (17-21) 408 時間 (有料利用のみ)

○改善

新たな利用者を狙い、平日夜の利用促進を目的としたアトリエ企画「ふらっとアトリエ」を実施し、8 月・9 月の夜間を中心に、アート制作で使う学生グループの利用が 118 時間あった。この企画のみならず、夜間利用増を目指し積極的に情報発信を行いたい。

ウ 利用促進に向けた取組【センターで取り組んだこと】

①設備・備品の充実

- ・和室にマットの設置。
- ・会議室 1 のブラインドを、新しいカーテンに交換した。
- ・会議室 1 にフリーWi-Fi を設置した。(分室にはすでに京都 Wi-Fi を設置済み)

②サークルの立ち上げ

地域の老人会の健康麻雀教室の相談を受け、道具の相談から、老人福祉センターに講師

の問合せなど立ち上げまでのサポートを行い、定期的な開催につなげた。

(3) 情報発信等

ア 取組実績【SNS等広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例】

- ・HP、Facebook、X（旧ツイッター）と3つのSNSを情報発信の特性に応じて分けている。HPは基本情報のほか、新規利用者の登録がスムーズに進むように登録用紙や利用規約をダウンロードして記入できるようにしている。新規利用について電話で問い合わせがあった際は、来館しなくても登録できるように利便性を高めている。
- ・これから行う事業の告知と、終了した事業を報告している。報告ページを活用して、今までの事業成果のアーカイブとしても使っている。
- ・Facebookでは事業の報告、Xは日々のニュースや、他のセンターや近隣施設のポスト、そして助成金情報などのリポストなどを日々気軽におこなっている。Xは昨年より頻度を上げほぼ1日に1回程度、今までのポストは3,487件（4/20現在）当センターのフォロワーも徐々に増加し4/20の時点で806人となった。
- ・紙媒体として、地元町内会対象に「岡崎いきセン便り」を作成し回覧している。また、主にいきセン利用者向けに「岡崎いきいき新聞」を季刊で発行している。そこで、事業のお知らせや活動報告のほか、サークルでの入会募集なども行っている。

イ 取組の効果

- ・市民活動の告知拡散の協力を、Instagramのみで宣伝しておられた手話マルシェの開催についてXで発信したところ、メディアからの問合せがあり、広報の協力につながった。
- ・新規利用者に当センターの利用のきっかけをアンケートしたところ、SNSでの検索という回答が23%あり、センターのことを知ってもらうきっかけになっている。

(4) 管理運営

京都市との協定書及び仕様書に基づき、適切に管理運営を行っている。

防火管理者の講習は2人のスタッフが受けている。

業者による、建築設備、消防設備の保守点検を受けた。年に2回のワックスがけ等の清掃業務もしている。植栽等は高木に関しては植木屋さんに整えてもらっている。他、普段の清掃、保守管理、草花の植栽はスタッフにより実施している。

(5) その他

「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」

- ・利用者に快適な利用環境を提供するために、古い畳だった和室にマットを敷いて快適にした。また会議室1の壊れたブラインドもカーテンに取り換え、落ち着いた雰囲気になった。定期的なピアノの調律も行い、毎日の掃除も徹底し施設と設備のメンテナンスを適切に実施した。
- ・地元密着型公共施設として地域とのパートナーシップを強化し、小回りを利かせた活動で地域団体との協働をすすめている。地元と利用者のニーズに合わせたサービスの提供を行っている。
- ・地域住民や利用者が自主的にプログラムを企画し、実施することができるように、会議の場を提供し、持続可能で健全な運営を目指して意見や要望を聞きながらサポートしている。地域の団体や左京区役所との連携を強化しており、ともに進化していきたい。

2. 市民活動支援・活性化事業 *岡崎いきいき市民活動センターは、すべて市民活動支援活性化事業

【事業名】市民活動自立自走事業 相談・育成事業

1 事業の概要

	業務内容	詳細内容	日時	場所	人数	協力団体等
①	センター利用 団体活性化	ヨガ・体操 サークル活 性化	4月、5月	当センター	5団体	
②	センター周辺 施設に出演者 コーディネー ト	ア)子育て支援 イ)区役所 ウ)保育園	ア)7/8 イ)9/24 ウ)3/13	ア)どんぐり 広場 イ)左京区役 所 ウ)てをつな ぐあおき保 育園	ア)出演5名+観 客20名 イ)出演10名+ 観客200名 ウ)出演5名+観 客20名	イ)左京区地 域力推進課
③	ロームシアタ ー京都出演者 コーディネー ト	「ローム・ス クエアライ ブ」に地域団 体・当センタ ー利用者コー ディネート	9/30、 10/1、10/7	ローム・ス クエア（ロ ームシアタ ー京都中 庭）	出演団体 9/30:5団体 10/1:6団体 10/7:4団体	ロームシア ター京都、 岡崎学区自 治連合会、 近隣の小中 高等学校等
④	ドラムサーク ルグループサ ポート	事業終了後に 始動したドラ ムサークルグ ループのサポ ート	エ)11/2 オ)12/2 カ)1/27	エ)当センタ ー オ)錦林児童 館 カ)あおい苑	エ)出演7名+参 加者20名 オ)出演5名+参 加者16名 カ)出演4名+参 加者27名	岡崎学区社 会福祉協議 会、錦林児 童館、あお い苑
⑤	センター大交 流会「岡崎い きセンサーク ル見本市」	センター利用 者による、 様々な発表会	2024/2/12	当センター	出演団体15団 体	
⑥	おでかけレコ ードを聴く会	老人福祉セン ターでのレコ ードを聴く会	2024/2/29、 3/28	東山区老人 福祉センタ ー	2/29:12名 3/28:19名	東山区役 所、東山区 老人福祉セ ンター
⑦	ボランティア 活動立ち上 げ、グループ の活性化	キ)補助金申請 案内 ク)NPOのセミ ナーサポート ケ)老人会のサ ークル立上げ	キ)4月 ク)5/15、 5/29 ケ)12月~3 月	全て当セン ター	キ)2名 ク)NPOセミナー 参加者20名 ケ)麻雀教室20 名×4回	
予算： 860,000円 / 決算： 779,403円						

2 事業内容

①センター利用団体、ヨガ・体操サークル活性化

体操・ヨガを特集としたチラシを作成し、新規メンバーを募集した。

②センター周辺施設出演者コーディネート

ア)多国籍アカペラグループ「KYOPELLA」×子育て支援「どんぐりひろば」at 本福寺 お楽しみコンサート

イ)子どもコーラスグループ「Comodo」×左京区ふれあい祭り オープニングアクト

ウ) ママさんアカペラグループ「錦林アカペラサークル」×あおき保育園 義援金募金ミニコンサート

③ ロームシアター京都「ローム・スクエアライブ」地域団体・当センター利用者コーディネート(地域団体には下線)

9/30: あおい苑、白河総合支援学校音楽部、錦林児童館、文教中高ダンス部、杜のしらべ・チャオリーナ

10/1: 歌って健康コーラス、岡崎女性会民踊部、夢街道、Comodo, キャナリアンヴォイセズ、岡崎リトルポップスターズ

10/7: 岡崎中学校吹奏楽部、シャイニングスターズ、岡崎幼稚園、岡崎いきセンドラムサークル

④ ドラムサークルグループサポート

事業「ドラムサークル」の4回の講習でドラムサークルグループ「Kyo 響 Beat」が始動し、活動先へのコーディネートやサポートを行った。

エ) 11/20: 岡崎学区社会福祉協議会「いどばたサロン」

オ) 12/2: 錦林児童館

カ) 1/27: 障がい者施設「あおい苑」

⑤ センター大交流会「岡崎いきセン サークル見本市」

センター利用者等が、体操、歌、蓄音機の実験、中国語会話等様々な発表を行った。

⑥ 「おでかけレコードを聴く会」

当センターのレコードを聴く会サークルメンバーが、持ち運びできるプレーヤーやスピーカーを持って、東山老人福祉センターでレコードを聴く会を行った。

2/29: アメリカのルーツを聴こう、3/28: ジャズで聴く懐かしの映画音楽特集

⑦ ボランティア活動立ちあげ、グループの活性化

キ) 外国ルーツの方への日本語教室を希望しておられた方と、外国人への病院などへの付き添いなどのサポートを考えておられた方を引き合わせ、相互に活動を紹介して補助金申請の案内を行った。

ク) 特定非営利活動法人京都安心支援機構の、終活と詐欺のセミナーサポート。セミナー開催相談への内容、チラシ作成に関するアドバイスを行った。(添付チラシ参照) またセンター利用者にもセミナー参加に向けて積極的に声をかけた。

ケ) 岡崎地域老人会「錦寿会」の活動支援。新クラブ「健康麻雀教室」立ち上げの相談、立上げサポートを行った。他のいきセンや左京区老人福祉センターの健康麻雀クラブに問合せをしたり、立上げ準備や講師派遣の相談を受けて、定期的に行われるようにサポートした。

3 準備段階での工夫

② 周辺学校等に出演に関して、秋・冬のイベントでも学校行事等が決まる春から調整をはじめた。

④ ドラムサークルグループが自立できるように、一部のリーダー、調整役メンバーに過度に負担がかからないようにサポートした。

⑤ 交流会で、自然と参加者による交流が行われるよう、自分たちの出演時間以外は、各団体から他の出演者の準備、司会、片付などをするように設定した。

⑥慣れた当センターではなく、機材もない外部会場で市民企画者が普段通りの活動ができるようにサポートした。

⑦ケ) 麻雀台の選定や、初心者への講師の派遣相談など、老人会役員の方と何度か打合せを行い、開催に向けてサポートした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

当センターの利用者、グループの活動の立ち上げ、活性化をはかり、市民活動グループの自立自走を目指す。またグループの活動活性化を促進することで、貸館利用の拡大も狙う。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・区役所や市民活動総合センター、また地域の公共施設との連携が深まった。
- ・利用者や地域団体を市民活動につなげることができた。
- ・コロナ禍で、発表の場を失っていたサークル活動を活性化することができた。
- ・得意分野を活かしたボランティア活動を提案することができた。
- ・イベント開催や新規加入者でサークル活動が活性化した。
- ・一般市民にセンターの取組みを周知することができた。

○アンケート結果より

⑥おでかけレコードを聴く会 東山老人福祉センター参加者より

Q 当講座はいかがでしたか？

とても良かった…12 よかった…2 普通…0 あまりよくなかった…0 無回答…0

Q 感想やご要望をお書きください。

A・久しぶりにゆったりした気分で音楽を聴けました。又参加したいです。

A・演歌歌手を含めた幅広いジャンルで、映画音楽・ジャズを取り上げられたのはすばらしいと思います。

A・自分は自宅で聴いたりしていますが、私の持っていないレコードばかりととてもうれしいです。オカリナの演奏ありがとうございました。

5 今後の抱負

- ・利用者との普段の会話から相談や悩みの元が見つかる。全スタッフで情報を共有しサポートを続けていきたい。
- ・利用者のサークル活動を、児童施設や老人福祉施設、障がい者施設にボランティアに出かける市民活動化を進めていきたい。
- ・新規サークルの立ち上げや利用団体の活動の活性化による貸館利用時間の増加を目指す。

市民活動自立自走事業 相談育成事業



①センター利用団体、ヨガ・体操サークル活性化
体操体験会



②センター周辺施設出演者コーディネート
アカペラグループ、お寺でお楽しみコンサート



③岡崎パークステージ、地域団体コーディネート
岡崎幼稚園による和太鼓演奏



④ドラムサークル コーディネート
岡崎学区社会福祉協議会「いどばたサロン」で実演



⑤岡崎いきセン サークル見本市 記念集合写真



⑤岡崎いきセン サークル見本市 よし笛体験会



⑥おでかけ「レコードを聴く会」
東山老人福祉センターで



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
助成金の説明



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
NPO 法人の終活と詐欺のセミナー



⑦ボランティア活動の立ち上げ、グループの活性化
老人会健康麻雀教室 第1回目の様子

【事業名】 市民活動自立自走事業 スキルアップ支援

1 事業の概要

- 1 開催日時：①コミュニケーションのコツ講座 2024/3/20(祝・水)13:30-15:00
②手書きポスター講座 2024/3/23(土)10:30-13:00
- 2 開催場所：岡崎いきいき市民活動センター
- 3 参加人数： ①20名 ②14名
- 4 予算： 100,000円 / 決算： 96,158円

2 事業内容

①コミュニケーションのコツ講座

- ・コーチングの手法を取り入れたコミュニケーションに関する講義(約30分)
- ・4、5人のグループワーク(約30分)、(5分×4人) テーマ「この1年間で頑張ったこと」等を話す人と、残りは話をしやすい雰囲気を作る聞き役になる練習。
- ・感想共有と質疑応答(約30分)

参加者は10代から80代まで幅広い年齢層で、その半数以上がセンター事業初参加だった。グループワークでは、講師から提示されたテーマに沿って「話す側」「聞く側」の役割を体験し、コミュニケーションに対する理解を深めた。

②手書きポスター講座

- ・ポスター作りのポイントやコツに関する講義(約30分)
- ・参加者による手書きポスター作成(60分～100分)
持参した写真やイラストを使い、講師のアドバイスを受けながらポスターを作成した。

3 準備段階での工夫

- ・コミュニケーションのコツ講座では、センター利用者のみならず外部からの申込も多かったの
で性別や年代などを参加者に聞き、幅広い対象者に対応できる講義をお願いした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ①様々な参加者が想定されるサークル活動の円滑な運営。
- ②メンバー募集やイベントを想定したポスターの作成。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ①「聞くスキル」を学ぶことで、初対面の参加者同士であってもコミュニケーションが円滑に行われることが実感され、今後のグループ活動活性化への効果が感じられた。
- ②講師のアドバイスにより、手書きポスターならではの温かみのあるポスターが完成した。
この経験を活かし市民活動やサークル活動の積極的な情報発信につながることを期待できる。

○ アンケート結果

- ① 1.大変良かった8 2.良かった9 3.普通1 4.あまり良くなかった0 5.良くなかった0
- ② 1.大変良かった8 2.良かった4 3.普通1 4.あまり良くなかった0 5.良くなかった0

5 今後の抱負

- ①今回のように利用者からの要望が高いスキルアップ企画を考えていきたい。
- ②ポスター講座の継続的な希望もあり、今後も利用者のスキルアップを考えていきたい。

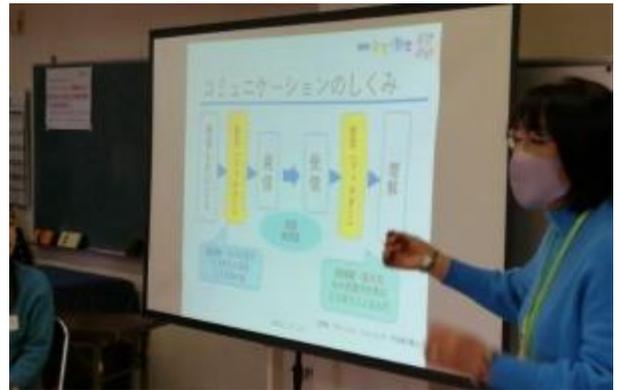
市民活動自立自走事業 スキルアップ事業

①コミュニケーションのコツ

2024/3/20 (祝・水) 参加者 20 名



10代から80代まで20名の受講者が参加



講師より、パワーポイントを使って説明



4, 5人でのワークショップ、しゃべる、聴くを交代で



話の感想を「ほめて」伝えるワークショップ

②手作りポスター講座

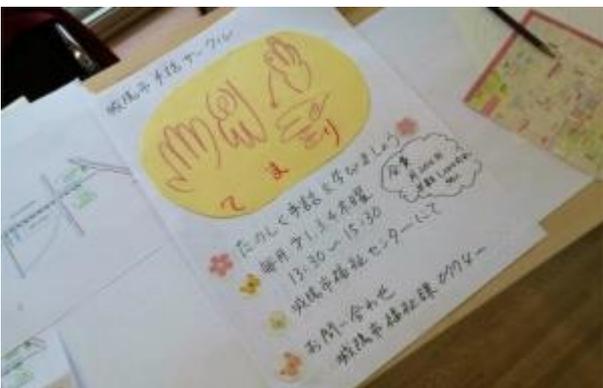
2024/3/23(土) 参加者 14 名



講師より実例をみながら説明



中央の作業台に自由に使える素材が置かれている



作品例：手話サークル



ラミネートして貼られるポスター

【事業名】 市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ1

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和5年8月14日(月) まちあるき
- 2 開催場所：岡崎公園周辺
- 3 参加人数：地域の大人2人、錦林児童館の子ども5人、児童館スタッフ3人
- 4 協力団体等：岡崎学区民生委員、錦林児童館
- 5 予算：77,000円 決算：70,472円

2 事業内容

【実施目的】 地域、まちの魅力を再発見し、地域への関心や愛着を深める。

【実施内容】

児童館の子どもと地域の大人で2グループに分かれ、二条通を挟んで北側と南側を探索した。

センターに戻り、大きな地図に発見したことを書き込んだ。

子どもたちの取材記事をもとにセンタースタッフで地図を作成した。

出来上がった地図はセンターのHPで紹介した。

3 準備段階での工夫

令和4年度から児童館と日程やまちあるきの場所について打合せを行ってきた。児童館は常時100人以上の子ども達が在籍するので、参加者が少ないであろうお盆休みを設定した。

参加人数が多かった場合、地元の大人ガイドとして民生委員の方々の協力を得られるよう依頼した。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・ 地域の大人と子どもで一緒に歩き、まちの魅力を再発見し、地域への関心を高める。

(2) 事業実施による目標の達成度

実際に歩くと近くに住んでいても知らない場所を沢山見つけられ、地域への愛着が深まった。

5 今後の抱負

子どもたちからシニアまで世代を超えた交流と地域への関心や愛着を深めるために、地域でのまちあるきを計画していきたい。

【事業名】 市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ2

①ギャラリー巡り ②いきセン周辺飲食店マップ

1 事業の概要

- 1 開催日時：①令和5年12月2日(土) ②募集 令和5年11月～1月
- 2 開催場所：①神宮道周辺ギャラリー ②当センター周辺
- 3 参加人数：①ギャラリー巡り 12人 ②14人
- 4 協力団体等：①センター周辺ギャラリー
- 5 予算：223,000円 決算：212,480円

2 事業内容

【実施目的】

地域、まちの魅力を再発見し、地域への愛着を深める。作成した地図から街の魅力を積極的に発信する人材を育成する。

【実施内容】

- ①アーティストの講師とともにギャラリーを巡り、作家やギャラリーオーナーに取材をした。参加者はセンターに帰って、ギャラリーの印象、取材内容を発表し、話あい記事をまとめた。記事を元にセンターでマップを作成。出来た地図はセンターHPで紹介するとともに、印刷して配架した。また、ギャラリーに地図を置き活用している。
- ②センター周辺の飲食店情報を利用者から収集した。情報をもとにセンタースタッフで地図を作成し、出来上がった地図はセンターHPで紹介するとともに印刷して配架した。

3 準備段階での工夫

- ①ギャラリーの『取材とレポート』とチラシに掲載し、大仰に捉えられたためか申込が伸び悩んだ。広く積極的に声をかけると共にレポートがメインではないと説明し参加者を増やした。

4 事業実施による効果・達成度

- ①講師と共に取材することで、作家やオーナーから話を聞き出すことができ、各ギャラリーの特徴や雰囲気伝わる地図を作ることができた。岡崎地域の魅力に深く触れ、地域への愛着が深まった。

【アンケート】 本日の講座について、全体的な感想はいかがでしたか？

1 とても良かった11人 2 よかった1人 3 普通0人 4 よくなかった0人

- ②利用者の中でも、地域の方が紹介するお店と市内からの利用者の紹介する店など、バラエティ豊かな店が集まり、センター利用者の話のきっかけにもなっている。利用者にとっても必要な飲食店情報を提供できるとともに、サークル終了後の喫茶店でのメンバー交流などにも活用されている。

5 今後の抱負

- ①ギャラリー巡り参加者が、様々なアート作品などを情報発信できる市民ライターになる仕組みを考えていきたい。
- ②今後も、利用者より情報提供を受け新たに飲食店情報を追加し、地図を更新して、地域の魅力発信につなげていきたい。



講師とともに巡り、滞在中の作家やギャラリーオーナーに、作品やギャラリーのこについて取材する。



説明を受け、まとめ、センターに帰ってから担当ギャラリーについて発表する参加者。

右) ギャラリーマップ

ギャラリーMAP

岡崎周辺のギャラリーマップ。右側には各ギャラリーの紹介と写真が掲載されている。

<p>アートギャラリー 一宮堂 岡崎の中心部、一宮堂の一角にあり、1967年に開業。岡崎の文化の中心地として、多くのアーティストが活躍している。現在は、現代美術、伝統工芸、デザインなど、幅広い分野の作品を展示している。</p>	<p>ARTIST JAZZ (アーティストジャズ) 岡崎の中心部、ARTIST JAZZの一角にあり、1998年に開業。ジャズ、ロック、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽を演奏している。現在は、ジャズ、ロック、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽を演奏している。</p>
<p>ギャラリー16 岡崎の中心部、ギャラリー16の一角にあり、2010年に開業。現代美術、デザイン、グラフィックなど、幅広い分野の作品を展示している。</p>	<p>ONE NEPAL DINING&BAR 岡崎の中心部、ONE NEPAL DINING&BARの一角にあり、2015年に開業。ネパールの伝統的な料理を味わえる。現在は、ネパールの伝統的な料理を味わえる。</p>

岡崎いきいき市民活動センター 近所飲食店マップ

岡崎いきいき市民活動センター 近所飲食店マップ。左側には各飲食店の紹介と写真が掲載されている。

<p>カフェ dining table 岡崎の中心部、カフェ dining tableの一角にあり、2010年に開業。カフェ、レストラン、バーなど、幅広いジャンルの飲食店を営んでいる。</p>	<p>カフェ dining table 岡崎の中心部、カフェ dining tableの一角にあり、2010年に開業。カフェ、レストラン、バーなど、幅広いジャンルの飲食店を営んでいる。</p>
<p>カフェ dining table 岡崎の中心部、カフェ dining tableの一角にあり、2010年に開業。カフェ、レストラン、バーなど、幅広いジャンルの飲食店を営んでいる。</p>	<p>カフェ dining table 岡崎の中心部、カフェ dining tableの一角にあり、2010年に開業。カフェ、レストラン、バーなど、幅広いジャンルの飲食店を営んでいる。</p>

下) 岡崎いきいき市民活動センター 近所飲食店マップ

【事業名】 市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ3 パン屋マップ編

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和6年2月23日（金・祝）13時～15時
- 2 開催場所：みずき寮：京都府留学生寮（左京区吉田近衛町26-88）
- 3 参加人数：19人（内留学生5名）
- 4 協力団体等：みずき寮
- 5 予算：80,000円 決算：80,199円

2 事業内容

【実施目的】

地域、まちの魅力を再発見し、地域への愛着を深める。作成した地図から街の魅力を積極的に発信する人材を育成する。

【実施内容】

参加者は各自オススメのパンを購入持参し、パン屋やパンの魅力をプレゼンした。

参加者が写真を撮ってインスタグラムなどのSNSに投稿した。

プレゼン後、パンの試食を行い、参加者間で意見交換や交流をした。

参加者が紹介したパン屋さんの位置を地図に書き込んだ。

出来上がった地図はセンターのHPで紹介した。

3 準備段階での工夫

各人が持ち寄るパン屋の情報を事前に聞いて地図に書きこんでおき、当日スムーズに進めるように段取りをした。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・身近なパン屋を通して、まちの魅力を再発見する。
- ・作成した地図を活用しパン屋巡りにつなげる。

（2）事業実施による目標の達成度

パンを通じて、市民や留学生の間で店の情報交換など話がはずみ、魅力を発信する人材育成の一步となった。

地図を片手に左京区のマチに出かけたいという参加者もいて、地域への愛着が深まった。

【アンケート】 本日の左京区パンマップ作りに参加していかがでしたか？（有効回答 16）

1 とても良かった 14人 2 よかった 1人 3 普通 0人 4 あまりよくなかった 0人 5 良くなかった 0人

5 今後の抱負

今回作成したパンマップを活用し、新たに左京区に関わりのある留学生や学生に街の魅力を伝えていきたい。また、今回の参加者がガイドになって市民に向け案内するなど、情報を発信できる市民活動につながる動きを考えていきたい。



購入したパンをプレゼンする参加者



パンに詳しい講師よりパン屋さん、パンの補足情報



若いメンバーによる SNS 投稿、パンの写真を撮る



集合写真 そしてパンの試食と歓談

完成したパンマップ 配布及び SNS で投稿

地図を片手に、左京区のまちを楽しみ、おいしいパン屋を巡ってみませんか！

左京区パンマップ 2024

1. 住所 2. 電話番号 3. 営業日 作成日: 2024年3月

このマップは、2024年2月23日に開催した「左京区パンマップ作り」事業で市民参加者が持ち寄ったパンと情報をもとに作りました。会場のみずき寮は留学生寮で、留学生からもパン情報が集まっています。この地図に載っていない素敵なお店もまだまだ沢山ありますが、まずは地図を片手に左京区のまちを楽しみ、まちの魅力を知り、その魅力を地域に発信してもらうためのきっかけにお役立ちください！パン屋情報ですが、マップ作り参加者のパン愛がみられる地図と意見の意見であることをご了承ください。

<p>①吉田パン工房</p> <p>1. 左京区松ヶ崎曙町2-2 アルカディア松ヶ崎 1F 2. 075-712-7233 3. 土日 9:30-14</p> <p>週末が休んでいる大人気店、レストランに馴染んで、食事合うパンが多い。カンパニユは酸味が強い場合が多いが、ここは酸味も少なく、肉、魚、ワインに合う。性質者オスメリのシザン、レーズンぶくろみが多い。</p>	<p>②ぱんのちはれ</p> <p>1. 左京区豊寺南大丸町48-8 2. 075-703-6710 3. 水曜休 10-19</p> <p>店主の方が面白い。食パンは太白粉を使ってもっちり、しっとりとした食感。小豆とサツマイモが入ったパンは、固い生地のパンの中に、あんこではなく、粒の小豆とサツマイモがぎっしり詰まると、蒸気蒸すで作る生地はまったりと重く食べ応え充分。</p>	<p>③Les blés d'or</p> <p>1. 左京区下鴨高木町33 2. 075-706-2510 3. 水曜休 9:30-18</p> <p>職業者は自宅でのクワッセン作りでチャレンジしたほどクワッセンが好き。アニッシュ煎が充実。素材にこだわりがある。ミニクワッセンは毎日有店にあるのではなく、余った生地があるときに作られるそう。</p>	<p>④自家製酵母のパンの店 はちばち</p> <p>1. 左京区下鴨曙町 5-12 2. 075-706-7888 3. 水曜休 11:30-19:30</p> <p>2009年に西園で開業していたはちばちはインフィニティカフェから、2016年下鴨に移転。ドイツ茶のパンを中心に、店主1人のこだわり。京都在住の外国人のファンも多い。今日は食べたライ麦 75%、小麦 25%のライ麦パンは、上におまわり粉が載っている食べやすく、柑橘ジャムとの相性もとても良い。</p>
<p>⑤手作りパンの店 ホエット</p> <p>1. 左京区田中大丸町41-3 2. 075-711-3834 3. 火曜休 7-15:30</p> <p>週末が休んでいる大人気店、レストランに馴染んで、食事合うパンが多い。カンパニユは酸味が強い場合が多いが、ここは酸味も少なく、肉、魚、ワインに合う。性質者オスメリのシザン、レーズンぶくろみが多い。</p>		<p>⑨やまだベーカリー</p> <p>1. 左京区等土寺下馬場町37 2. 075-771-5743 3. 水曜休 8-15</p> <p>1947年新築、現在3代目の店主が営んでいる老舗。お客さんのお知恵を山田しんぶんに(注:「部分シリーズ」のパンは子どもたちには不人気)の楽しい記事も。シナモンロールは、白いアイシングも甘すぎずシナモンシュガーのくもどけも良いパン。朝 8 時から開いているのも、早朝からパンを食べたい時に嬉しい。</p>	
<p>⑥マルホベーカリー タカラダ</p> <p>1. 左京区田中島南町42 2. 075-751-4528 3. 日曜休 9:30-21</p> <p>東大船泊りにあり、かつては老舗で有名なパン屋。お客さんのお知恵を山田しんぶんに(注:「部分シリーズ」のパンは子どもたちには不人気)の楽しい記事も。シナモンロールは、白いアイシングも甘すぎずシナモンシュガーのくもどけも良いパン。朝 8 時から開いているのも、早朝からパンを食べたい時に嬉しい。</p>		<p>⑩白河総合支援学校MilkyWay</p> <p>1. 左京区醍醐茶屋ノ川町2-2 2. 075-771-5510 3. 土曜祝休 10-15(月曜日の販売なし)</p> <p>啓蒙の一環として、校内でパンの製造と販売、生徒自身がコーヒー豆を磨る本格的な喫茶コーナーも併設。とても安くおいしいパンが買える。知る人ぞ知る大層！</p>	
<p>⑦松</p> <p>1. 左京区等土寺西町72 2. 075-771-7550 3. 月曜休 7-19</p>		<p>⑧カツリーニ</p> <p>1. 左京区醍醐山王町43 2. 075-836-8338</p>	

【事業名】文化芸術交流連携事業 社会包摂とアート 福祉ドラムファシリテータ養成講座

1 事業の概要

- 1 開催日時：令和5年9/18、9/23、10/1、10/7 時間は13～17時
- 2 開催場所：当センター、10/7はロームスクエア（ロームシアター京都中庭）
- 3 参加人数：講座参加者19名
- 4 協力団体等：株式会社ビートオブサクセス、ロームシアター京都
- 5 予算：815,000円 / 決算：796,850円

2 事業内容

【実施内容】

- ・打楽器を通じた福祉活動や企業研修を行っているビートオブサクセスより講師を招き、講義と実技を学んだ。
- ・最終日の日に、ロームシアター京都主催のロームスクエアライブに出演し、一般参加者を巻き込んだドラムサークルを実施した。その中で受講生がファシリテーターとなり進行役を体験した。
- ・参加者の中からドラムサークルクラブを立ち上げ地域活動へ向かうよう取組む。

3 準備段階での工夫

東京より講師やスタッフを招聘することもあり、事前にZOOMで入念に打合せを行った。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

文化芸術を通して地域福祉に貢献する人材の育成を行い、地域への派遣を行うことを目的とする。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・ロームスクエアライブで、講師が行うドラムサークル体験だけでなく、受講者も実際にファシリテーターとして関わり実践を行うことができた。受講者は参加者側の体験とともに、ファシリテーターを体験したことで、ドラムサークルの持つホスピタリティの精神とファシリテーターの実践の意義を体感することができた。
- ・ロームスクエアという屋外で、不特定多数の参加者に対してドラムサークルを開催したことで、ドラムサークルへの関心、ひいては当センター事業の周知につながった。
- ・短期間で受講生の中でつながりが生まれ、ドラムサークルクラブが立ち上がり、今後地域活動を行うことが決まった。

【アンケート】自由記述より一部抜粋

講師の方の長い経験からの理論を、実技を見た後で聞いたのでとても実感できました。一見自由なようであっても深いメソッドに裏打ちされた型があり、また型がありながら生きた時間を共有することの大切さを教えてもらった気がします。

5 今後の抱負

今年度、結成は難しいと当初考えていた受講生によるドラムサークルクラブが立ち上がった。しかし一部の受講生の負担が大きくなっている。次年度も継続開催して、メンバーを増やし、ボランティアとして積極的に地域福祉に貢献するメンバーを増やし、安定的なドラムサークルクラブの活動が動き出すまで伴走しながら支援を継続していきたい。

社会包摂とアート 福祉ドラムサークルファシリテータ養成講座

9/18, 9/23, 10/1 岡崎いきいき市民活動センター 10/7 ロームシアター京都 ローム・スクエア



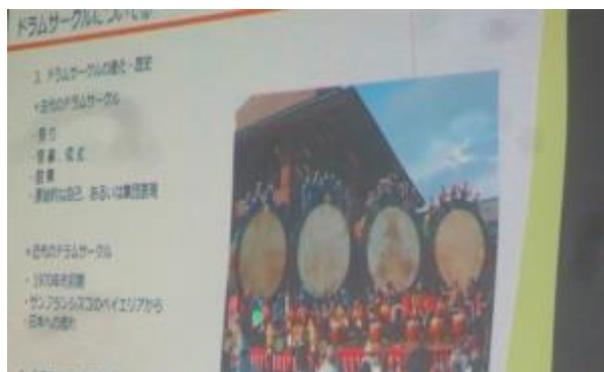
輪になってドラムを叩くドラムサークル



参加者が空き缶、筒などで音が鳴るものを作成



ドラムサークルの第1人者の講師による実演と講義



講義の一部 スライドを見ながら



参加費で購入したシェイカーによる、ワーク



10/7(土)ロームスクエアにおけるドラムサークル



10/7(土)子どもや一般参加者も楽しそうに参加



センターに帰ってから本日の活動の振り返り

【事業名】文化芸術交流連携事業 社会包摂とアート カメラ

1 事業の概要

- 開催日時：撮影&ワークショップ令和5年6月25日 10:15～15:15
HP および屋外展示期間：令和5年6月25日～7月9日
- 開催場所：撮影：岡崎公園、平安神宮等 ワークショップ及び展示：当センター
- 参加人数：講座参加者14名（ヴァリアスコネクションズ利用者5名、関係者4名、一般参加者5名）
- 協力団体等：一般社団法人 ヴァリアスコネクションズ
- 予算：140,000円 / 決算：139,738円

2 事業内容

【実施目的】

写真撮影を通じて交流を深め障がい者理解を促進し、市民活動への気づきへつなげる。

【実施内容】

障がい者福祉事業所「ヴァリアスコネクションズ」が定期的で開催している、「だれでもカメラ部」に参加してデジカメで写真を撮った。作品はHPで掲示およびワークショップでラミネート加工した後屋外展示した。

- ・福祉施設でのアート活動について話を聴いた。
- ・全員が作品を発表し、感想を共有した。
- ・展示は参加者全員で協力して行った。

3 準備段階での工夫

障がいのある方に負担増にならないように、撮影とワークショップ展示も昼食休憩を入れながら余裕を持ったスケジュールで設定した。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

一緒に写真撮影をする、ワークショップをすることによって障がい者の方とゆるく交流する。

(2) 事業実施による目標の達成度

公園での撮影時間、撮った写真を互いに説明し感想を共有する時間、展示をするために写真を並べる作業などの間、参加者間に自然な交流が生まれ障がい者理解が促進された。

【アンケート】

1.大変良かった 10人 2.良かった 2人 3.普通 0人 4.あまり良くなかった 0人 5.良くなかった 0人

自由記述より一部抜粋

- ・写真に正解はなく、否定がないイベントだったのでとても良かった
- ・構図や色、他の人の作品と並べてみてわかる色の楽しさやら、写真を撮ることで始まるのがたくさんあるなあとも思えました

5 今後の抱負

アートとしての写真作品に関して言えば、作品は障がい者も一般参加者も関係なく個人の感性や技量による。企画の主旨が伝わりにくく、一般参加者確保が課題であるが、アートイベントとして広く広報し、障がい者理解から市民活動へとつなげていきたい。



普段のヴァリアスコネクションズの活動の説明



岡崎公園でいったん集合写真



公園周辺で撮影対象を探索



参加者作品「鳥居と空」



センターに戻り、写真の解説と感想共有



ワークショップ、写真を選び張り出し



全員で展示作品を並べて掲示



作品を2週間掲示

【事業名】 地域連携事業 わいわい文化祭

1 事業の概要

- 1 開催日時：①わいわい文化祭開催日：令和6年2月3日(土)13:00～16:30
②会場スタッフ会議：令和6年1月11日(木) ③出演者会議：令和6年1月18日(木)
④実行委員スタッフ会議：令和6年1月24日(水)
- 2 開催場所：京都市国際交流会館メインホール、ホワイエ
- 3 参加人数：約500名（内11出演団体約250名）
- 4 協力団体等：岡崎自治連合会、京都文教中学・高等学校、岡崎中学校
- 5 予算：355,000円 / 決算：345,460円

2 事業内容

①わいわい文化祭：

- ・岡崎地域の福祉施設、教育団体機関等が連携し、歌や踊りの発表を行った。
- ・写真展、地域に関わる小学生から地域で活動するアーティストの作品の展示をホワイエで同時開催した。

②会場スタッフ会議：実行委員長と会場スタッフで当日の会場での動きを話し合った。

③出演者会議：実行委員長と出演代表者で打ち合わせし、当日の動きの確認と調整を行った。

④実行委員スタッフ会議：スタッフとなる岡崎地域住民が集い、実行委員長の指示のもと、各業務担当の確認と当日の動きの打ち合わせを行った。

3 準備段階での工夫

- ・実行委員の事務の効率が上がるようにPC操作のアドバイスをした。
- ・多くの人がこのイベントに関われる仕掛けを作るため、地元作家に声掛けをしてホワイエの絵画展示につなげた。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ①岡崎自治連合会を中心として岡崎地域の福祉施設、教育団体機関等の連携のもと文化祭を開催する。
- ②地域担い手に繋がる実行委員の育成。
- ③当文化祭の自立自走に向けてのサポート

(2) 事業実施による目標の達成度

- ①企画から当日の運営まで地域住民の連携のもと文化祭を開催する事ができ、地域活動の活性化への自立的な活動ができた。
- ②実行委員のPCスキルの向上により、資料や広報物がスムーズに作成できるようになった。
- ③ホワイエでの催し物では、作品展で地域の魅力を伝えるとともに、地域住民の交流の場づくりができた。

【参加者、出演者へのアンケート】

- ・わいわい文化祭の良さは？：自治体単位でこのような文化祭ができる64名、地域の複数の団体が出ている71名、地域の複数の団体が出ている71名、国際交流会館で開催30名、無料で出演・入場70名、地元に近い場所で開催53名 その他1名

5 今後の抱負

- ・実行委員に高齢のスタッフが増えてきたこともあり、会場内での業務に負担の無いよう、担当の持ち場の調整をしサポートしていきたい。
- ・実行委員がさらに自立的に動けるよう、引き続き自走化に向けて育成に力を入れていきたい。

地域連携事業 わいわい文化祭

令和6年2月3日



わいわい文化祭開演 1番目は地域の子ども達によるお琴演奏



会場は地域の方々に満席となった



ホワイエでは地域の方々の作品展示が行われた



受付の対応を行う地域の実行委員スタッフ



地域の消防団が駐輪場の管理を行う



終演後は実行委員スタッフで集まり反省会を行う



会場スタッフ会議では国際交流会館にて当日の動きを話し合った



出演者会議では各出演者代表同士で集まり当日の動きを確認した

【事業名】文化芸術交流連携事業 レコードを聴く会 2023

1 事業の概要

- 開催日時：①レコードを聴く会：4/22、5/27、6/24、7/22、8/26、9/2、9/23、10/28、11/25、12/23 (R6) 1/27、2/24、3/23 (14:00～15:30) ②企画者交流会（レコ祭り）：3/9 (14:00～16:30) ③お出かけレコードを聴く会：2/29、3/28 (10:00～11:30)
- 開催場所：①②当センター和室、③東山老人福祉センター
- 参加人数：①4/22：16名、5/27：13名、6/24：17名、7/22：16名、8/26：30名、9/2：31名、9/23：34名、10/28：23名、11/25：30名、12/23：36名 (R6) 1/27：24名、2/24：17名、3/23：20名 (計330名) ②3/9：23名、③2/29：12名、3/28：19名
- 協力団体等：東山区役所健康長寿推進課、東山老人福祉センター
- 予算：260,000円 / 決算：258,975円

2 事業内容

- 毎月1回、レコードを聴く会の開催（9月と3月は2回）
- 年1回の企画者交流会の開催
- お出かけレコードを聴く会の開催
- レコードを聴く会10年の軌跡 冊子作成
- 市民企画者の自立・自走支援
- 新規企画者の育成

3 準備段階での工夫

- ・PCが使えない企画者にもチラシが作れるように手描きで作れるようサポートをした。
- ・会場の受付や片付けも市民主体でできるように参加者に呼びかけをした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 市民企画によるレコードを聴く会の開催。
- 画者の自立自走化に向けたサポート。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 各企画者それぞれに応じたサポートをし、自立に向けて一歩前進できた。
- PCが苦手な企画者もチラシをつくれるようになった。
- 企画者同士が交流できる場を自主的につくるようになった。
- 長きに渡り継続開催してきたことで、他地域の関係機関（主に東山区老人福祉センター）との連携事業に発展した。
- 当センターから飛び出し、別の場所でレコードを聴く会を開催することで当会を幅広く周知することができた。
- 10年間をまとめた冊子をつくり、企画者と参加者とともに当会を振り返ることができた。

【アンケート集計】

- ・9/2：とても良かった…13 よかった…5 普通…1 あまりよくなかった…0 無回答…4
- ・3/23：とても良かった…7 よかった…3 普通…0 あまりよくなかった…0 無回答…0

5 今後の抱負

- どの企画者も未だ、完全な自立自走とはいかず、自主運営ができそうな企画者から優先的に自立に向けてサポートしたい。
- 企画者が市民活動に積極的に参加できるよう、別の場所でレコードを聴く会を開催する企画を継続していきたい。
- 本事業では、企画者の固定化がみられるため、新規企画者のサポートにも力を入れていきたい。
- 常連の来場者も多く交流も深まっているため、受け身ではなく会のサポートにも一歩踏み出してもらえるよう促していきたい。



4/22：来場者と企画者がレコードに纏わる話題で盛り上がった。



8/26：参加人数もアンケートの評価も高評価の会となった。



9/23：企画者が活動している音楽サークルの演奏を企画に取り入れた。



12/23：招聘講師の会はリピーターが多く人気のある会となっている。



1/27：参加者と企画者との交流により一体感のある会となった。



2/24：新規の企画者の会だったが、スムーズに進行した。



3/9：企画者同士が協力し合い運営。企画者の交流の場となった。



3/28：東山老人福祉センターでお出かけレコードを聴く会を開催。

【事業名】多世代交流事業 岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ

1 事業の概要

1 開催日時：

- ①岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ：10/14(11:00～18:00)
- ②ワールドミュージックを聴く会・フェス事前ワークショップ：5/13、6/10、7/15、8/12、9/9、11/4、12/9、1/13、2/10（全日 14:00～15:30）
- ③対面・オンライン会議（4/15、②の終了後、2/10以降はSNSでのメッセージなど）

2 開催場所：①ロームスクエア（ロームシアター京都）②岡崎いきいき市民活動センター和室

3 参加人数：①129人②各回5～20人程度③各回5～15人程度

4 協力団体等：京都文教大学、ロームシアター京都

5 予算：830,000円 / 決算：776,568円

2 事業内容

【実施目的】

- ・大学や岡崎近隣施設、地域団体、市民との連携。
- ・子どもと子育て世代の親、大学生、高齢者との多世代の交流づくり。

【実施内容】

- ①大学や岡崎近隣施設（京都文教大学、ロームシアター京都）、地域団体、市民との連携から生まれたまちのにぎわい作りによる音楽フェス。センターではこのフェス内の大学と岡崎近隣施設と共にワークショップを行う。
- ②ワールドミュージックを聴く会・フェス事前ワークショップ。
- ③フェスに向けた会議。

3 準備段階での工夫

- ・ワールドミュージックを聴く会への参加者を毎月のレコードを聴く会に呼びかけた。
- ・ワールドミュージックフェスタを地域の回覧板などで周知した。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・大学や岡崎近隣施設、地域団体のネットワークの構築。
- ・実行委員の自立自走を目指す。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・①のワークショップに参加した子どもと子育て世代の親と、ボランティアスタッフとして参加した大学生と高齢の当センター利用者との多世代の交流の場が生まれた。
- ・当フェスを通して築き上げてきた地域の繋がりにより協力者が昨年度よりさらに増えた。

【参加者の反応】

- ・当フェスに毎年ボランティアとして参加するサークル団体が増えた。
- ・高齢のボランティアスタッフは孫世代でもあるワークショップに参加している子ども達との交流を楽しんでいた。

5 今後の抱負

- ・まだ交流できていない世代と交流できるように工夫をし、さらに多世代の交流の活性化を目指したい。

多世代交流事業 岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ

- ・岡崎ワールドミュージックフェスタ 令和5年10月14日
- ・ワールドミュージックを聴く会 令和5年4月～令和6年2月



フェスのワークショップの受付



ワークショップ終了後、子どもにアンケートを取るスタッフ



ワークショップで子どもと子育て世代との交流ができた



ワールドミュージックフェスタの会場



大勢の市民が集まり盛り上がりを見せたフェス終盤



月1で開催するワールドミュージックを聴く会



フェス事前にワークショップを開催



実行委員と岡崎近隣施設スタッフや大学生が集まり会議を行った

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績： 2,374,840円（前年度比123% 令和4年度：1,931,100円）

〔内訳 会議室等：2,161,800円（前年度1,807,400円）
 附属設備：213,040円（前年度123,700円） ※自主事業分を除く〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

ア) センター独自にアンケートを実施(令和5年11月実施)

イ) ご意見箱を会議室1と分室ロビーに設置(R5年11月より)

ウ) 事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

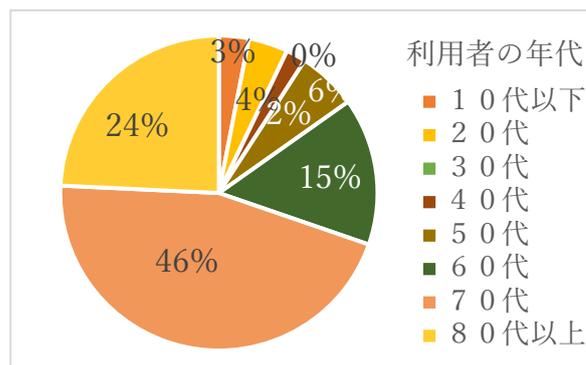
	案内表示は分かりやすかったですか	あいさつやお声がけはきちんとできていましたか	身だしなみは業務にふさわしいものでしたか	表情や態度は感じが良かったですか	言葉づかいや説明は、親切でいてねいでしたか	説明は的確で分かりやすかったですか	整理、整頓は行き届いていましたか
たいへん満足	26.7%	50.0%	39.7%	50.9%	49.1%	48.3%	35.3%
満足	70.7%	49.1%	58.6%	46.6%	50.0%	50.9%	62.1%
不満	2.6%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	2.6%
たいへん不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.9%	0.9%	1.7%	0.9%	0.9%	0.0%

(2) センター独自アンケート

ア) センター独自アンケート(99枚) 利用者の地域や年代、社会課題などについて

① 利用者の年代

10代以下	20代	30代	40代
3	4	0	2
50代	60代	70代	80代以上
6	15	45	24



60～80代の利用者が85%を占めている。当センターの利用者は、シニアが中心である。

②センター利用者が感じておられる『社会課題について』、自由記述形式で書いてもらった。

物価高	戦争・平和	居場所・地域	子どもの貧困、子ども食堂	高齢者介護	若者・他世代の生活	その他
6	5	4	3	3	2	4

その他は、犯罪、ジェンダー、環境、未婚率の増加が各1人ずつだった。

イ)ご意見箱

1件：分室の洋式トイレを暖房便座にしてほしいと要望があった。

引き続き利用者からの意見を踏まえ、より良いセンター運営に向けて検討していきたい。

ウ)事業実施時にアンケートを実施

事業報告書に添付している。

3 意見等への主な対応状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

自由記述欄に多かった要望として「会議室1のブラインド修理」が多かったため、令和5年度末に新しくカーテンを設置した。

(2) センター独自アンケート

年に1回、100名以上の利用者を対象とした独自アンケートや、常時置いているご意見箱で、スタッフへの直接要望しにくいことや、気づかれた点、気になることなど様々な意見を集めている。

その中で、独自アンケートの自由記述欄には「活動に関する運営のやり方講座や資金調達の講座」を希望する意見もあり、今後のセンターで開催する講座として検討していきたい。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

1 取り組んだ事業等の総括の記載

「市民活動自立自走事業」だけでなく、すべての事業において参加者による自主運営や自立自走に向けての支援に取り組んでいる。また、サークル活動でもメンバー募集チラシのアドバイスや、活動先の紹介など活動の発展に尽力している。

事業「地域文化祭」は、今までセンター側で作成していた、出演者へのお知らせや出演者の記入表を、担当者が作成できるようにワードの操作方法などアドバイスして作成できるようになり、自主的な運営の強化につなげた。

また、「レコードを聴く会」では市民企画者に、自身で広報をするスキルをつけてもらうよう各人のレベルに合わせチラシ作りのアドバイスを行い、パソコンができなくても手作りチラシを作成し、全企画者がチラシを作成できるようになるなど、自立に向けて着実にスキルアップしている。さらに「レコードを聴く会」からは、ポータブル機材を持って老人福祉施設等にでかける「おでかけレコードを聴く会」や、ワールドミュージックを聴く会などに企画者が関わり、市民活動への積極的な関与が見られた。

サークル活動でも、コーラスサークルのメンバー募集チラシの掲示依頼の際に、チラシ内容に関する改善点をアドバイスするほか、手作りポスター講座への参加を呼びかけたり、ヨガグループのメンバーカード作成やチラシ作成のサポートを行い、活発な活動へつながっている。

自立自走に向けた支援は、個人やグループの状況に合わせてきめ細やかに行う必要がある。センターでは長期に渡る利用者や関係者とのコミュニケーションから臨機に対応ができ、自立自走支援の成果が現れている。

2 今後、解決すべき課題等

【貸館利用者増】

チラシやインターネットを活用し、市民に向け広く周知に努め、新規利用者を増やす努力を続けてきた。その成果として新規の登録者が増えている一方で、定期利用につながらないケースもあり、思ったほど利用者数は伸びていない。

会議室1のカーテンの新調、FreeWi-Fiの設置、また和室のピアノの調律など、快適な環境を整え利用しやすい部屋に努めているが、さらに利用者アンケートやヒアリングなどを通して利用者増につなげていきたい。

3 次年度に向けた対応

次年度も、引き続き事業や支援の内容の充実を図り、さらなるグループの自立自走に取り組む。

施設運営に関しては常勤スタッフからアルバイトスタッフのスキルアップを目指し、研修などを充実させたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項はありませんでした。